

これは三十五年度に於て農業振興を實施して一増と商工業で
 小に事業資金の二百万円五百万円に右事で増額になつてゐる
 次の財産費に於ては二百七十七万円増額になつてゐる。これは旧武
 陽信用金庫の買収費であつて来年度三百八十九万円計上してゐる
 昨年百万円計上してありますので合せて三百八十九万の買収費を取つた
 額です。次に統計調査費ですが国政調査を行つたため計上してゐる
 次に選挙費ですが市長選挙費又農業委員の選挙の費用で計上
 五十四万五千七百円計上してゐる。次に公債費ですが四百五十五万三千
 二千円程で昨年より五十七万五千七百九十円増額になつてゐます
 次に諸支出金に於て百三十九万円程減になつてゐるがこれは自治会館の
 買収金として計上したものが本年は維持費として七十六万円程計上して
 いる。又二の中は於て高校誘地費二百万円行政処分二十周年記念
 事業費として六十一万円程計上してゐる。以上が一般会計の主なもので
 又特別会計に於ては後で説明してゐる。一般会計の御容を

東京都西多摩郡福生町役場

御座います。

一、市長 本案に對して御意見を願ひます。

二十三番 本年は首都圏整備法案の初まる中一年目であり

これらに對してどう言う予算が加えられてゐるか又行政二十周年記念
 行事に於ける予算上どう言う處置がなされてゐるか。

一、市長 首都圏の関係では予算的には都市計画を則進させる意味に於て
 事業費としてこれは区劃整理の事業費と計上して下水道事業費の
 調査費を計上してゐます。又都市計画の街路に二も参考となるが
 計上してあります。行政二十周年事業に於ては市井六十万円計上してあ
 りますが二のゆゑに左費用でいかなる計画をするかは、警察、青年、団体会
 その他町会等の色々な関係所政要覽を發行する関係又儀式に對する助成費以外
 すも関係等でもし費用が不足になつてゐたら補正予算により計上する
 右いと考へてゐます。

一九番 三十五年度予算の審議に當り審議方法であるが先程市長より市政

に説明してもらう上にたて置かれ、又一般的意見として載さそう上に委員会を聞くという方法がよいと思ひ、委員会事態もやりよいと思ふ。
三十三番 三十五年度の一般予算で、入の部で所収町長に伺ひますが、国有提供設置等所在地市町村が、国有と云う點で、すが大幅に踏んちようにおさますが、こう云うと、本年は非常に多いようですが、これに、つてどう考へてゐるか。

一町長 国有提供を希望して、これは、其地の公布金と云う方がよく、この關係は、毎年度で決定する法律になつてゐる。本年は、廿四年目になつてゐる。この方の基本になる經費十億と云う事に決定して、又公布の方法について、基本的基準になつてゐる。ので、間違ひないものと思ひ、千三百万円、計して、左でござります。

一議長 九番議員より、お願があつた。各専門課長より説明して、載さまいか。
一九番 暫く解決果として、は、御難であつて、考へるが、その續いて、委員会、のその事、おけるは、分るが、他の委員会、とは、分らないので、こゝで説明して

東京都西多摩郡福生町役場

つた、き、これに、値なり、意見を、こゝで、委員会、付託の審議、と云う事、も、非常、に、やり、やすい、と同時に、委員会、審議、が、終つた、その、次の、本会、議、々、終つて、も、やり、よい、と思ひ、大、成、が、こゝに、色々、な、意見、によつて、予算、案、と、云う、もの、が、各、委員、会、に、おと、称、子、が、款、と、く、と、云う、事、で、こゝに、上、に、立、つて、審、議、す、る、の、か、望、ま、い、

一議長 左の方の意見に、対して、どうですか。

一全員 異議なし。

一議長 これでは、精、当、課、長、より、説明、を、お、願、い、ま、す。

一総務課長 對、當、の、關係、を、申、し、上、る、前、に、三、十、五、年、度、の、予算、編、成、に、又、課、又、教、育、委、員、会、等、の、關係、か、ら、の、三、十、五、年、度、の、予算、案、に、對、する、需要、現、在、決、つ、た、

予算、に、千、八、百、二、十、万、と、云う、の、か、色、々、の、面、で、經、費、一、計、し、て、合、計、あり、役、場、の、自、動、車、に、對、す、る、一、こゝも、百、三、十、万、は、計、し、合、計、的、に、か、つ、て、さ、う、な、消、

防、の、關係、に、對、して、は、昨、年、度、より、貯、水、槽、等、は、所、で、金、額、補、助、す、る、と、云う、事、が、更、正、予算、追加、更、正、予算、によつて、一、分、お、ける、は、作、る、と、云う、事、が、

云、う、事、が、更、正、予算、追加、更、正、予算、によつて、一、分、お、ける、は、作、る、と、云う、事、が、

の増築工事、小學校、中學校に於て備品の以各教室用り書棚の整備する考である。その他保健衛生費、社会労働関係財産費に於て所管住宅の排水の関係等であり、予算編成に當つてはさう云う事です。又校務費に於ては取費の給料関係増員に対する予算編成で學校のブルの関係その他の関係でさう云う事で計じました。又財産費に於ては予算は予算では所管の分室を買収し、これを計じました。それから逆算費は昨年と経費の内要は変りなく諸支出金の内は高教誘地の関係繰出金については昨年より八十九万程少なく、これは国庫に二十九万、都費が六十九万、計八十九万程減になつています。又公債費は年々起債が増え、行きますので五十七万程増になつています。諸支出金については全体金額はつては減つていますが、自強金、館の関係が五百万円、昨年の分が残つていて、以て非常に簡便ですが、絶えず関係の内要です。

一、議長
また、今総務課長の説明で、左が二、三十分審議願う項目で

東京多摩郡福生町役場

す、續つて建設、厚生と説明——で載せようか。

一、全員整成

一、課表
 上水では建設、土木費との関係、を基本課表より説明願ふ。

橋本未謀長
今年度の土木費が一番大きな所は河川改修費で幸樂町

の横を通る排水の工事で都の補助の關係が河川改修と言う名目である

ので河川改修にこの項目を新たに置くべきと、これを存せしむべき。

なるないかと云うと一三二箇路を築造するに當て排水工事の築造と

もうける款でこの問題について所長初め旧市部試からの補助金を間接に

協力して戴いたのて報告し申にいたします。
土木費の道路橋梁費

に於ては、空前の増大を遂げ、失業対策事業費が、空前に上る。

すす加事務上維持費にふみであり、すから内要的には

維持費が上ったと云うものでなく失業対策事業費の分が二ちろに

入、
この
部
です。
道路
新設
改築
費が
百十
一万
円程
増え
て

二事請負費、五百五十万に計してあります。

神装工事と水源池

ふくめてあります。原燃料費、百二十万二千円、これは主として矢野
事業に用いる主燃料費で、農道の関係等です。橋梁維持修繕費
は三十五年度に於てははきりあかすので従来通り計じよう。左
河川改修費の七百三十七万九千四百円が先程申じました排水工事です。
二の中、に原燃料費、二十万九千四百円増えています。これは今迄土木改
築費に入れてありましたが新たに資材の受令の受令をこちらに
移した訳です。次に都市計画費ですが昨年に比べ三百十六万
程減になっています。今年は大変な工事がないので減になっています。
一、都市計画の関係としては概要として、柳通りの延長の用地買収
等、の用地買収費、又区画整理事業費は新規に計じされ左記です。
下水道事業費は警察の委託料と原住戸の上水道の改修費で
少く、雨でも氾濫し住民に迷惑をかけるというのでここに計じよう。
町営住宅建設費、これは今迄追加で御座います。これを前年度の用地が
七百坪あるというので五百坪を買収し早急に建設したいという事で

東京都西多摩郡福生町役場

当初に計じよう。左記です。

一、歳入 たいへん土木課長から土木費に対する説明をお願いしよう。

次に産業経済費と統計調査費を産業課長欠席のため

助役にお預けしよう。

一、助役 産業経済費に於ては本年度予算、三百四十二万八千三百七十円で昨年
に比し百万円程多くなっています。内容は農業委員会、
農業費に於て二十二万八千四百円、商工費に於て三十八万九千四百円、
創設費に於て事業費に於て二十四万四千五百円、
増えという訳です。その内の農業委員会費は昨年の三十七万
いふ分増になっています。鈴科おま、諸手当に於てもいふ分増額に
なっています。新しくとられたのは本年度より農家台帳の作成と
農家の実態を調べるために新本は十万円の増になっています。
農業費、農業費に於ては三十八万九千四百円の増になっています。
研修会等の二万九千四百円の増額になっています。

なうむに補助金等十三万円の増額になうています。高座振興費
十二万四千五百円と言う新しく出来たものであつて福祉に於ては高座が
良いと言う事で増額になうています。又高座費に於ては三十八万九千四百
増額になうています。本年小口事業資金を五百万円にしこれが二れが十
万の増額に成る額になうています。負担金補助金に於て十四万の増額で
商工の進行事業費と云うものであります。創設事業費に於ては二十四万
五百万の増になうています。これは負担金内、補助金及び交付金に於て
六万円の増になうています。そのうち増額とわづかづこの報償
費等が増額で二十四万円の増額に成るうています。
付けくわえて統計調査費は二十万二千四百円の増になうています。昨年
同様なものであつて本年新たに變つたりは事業所の統計調査が
二万五千円の増額になうています。国勢調査費に於て十七万五千円
と新左衛門予算がわづかづこの増額に成るうています。

一 民生課長 社会及労働施設費が予算面では八百一十七万四千四百八十九円の増額
になうています。所管住宅の件が四百六十九万四千四百八十九円の増額になう
二の増額の内訳は民生委員の手当の増額が五万一千四百八十九円となう
三は昨年の十二月に福祉が十二名が十四名になり手当が三百円が五百
に成る関係に成ります。又児童福祉の中は四百六十七万四千四百八十九
係員園の委託料の件で増額になうています。これは昨年度は幼
十三名乳児が十名となうてしまつたが乳児十五名、幼児八十五名と成る関係
です。それから社会福祉の件は六百六十八万二千四百八十九円増額になう
補助も関係で今迄青年団、婦人会等、補助金で三万四千四百八十九円増
離乳対策関係が一万円の増になうています。定額給付金で四万九千四百
国民年金事務費の事で老令福祉年金及び福祉年金等の事務の関
係で本年七月になうてキヨシセイの年金関係の所管調査が行われる訳で
二れに關しては追加予算で計化する訳です。社会擁護施設費に於ては
以てはの通りです。次に保険衛生費に關しては百三十九万四千四百八十九

東京都西多摩郡福生町役場

一 民生課長 社会及労働施設費が予算面では八百一十七万四千四百八十九円の増額
になうています。所管住宅の件が四百六十九万四千四百八十九円の増額になう
二の増額の内訳は民生委員の手当の増額が五万一千四百八十九円となう
三は昨年の十二月に福祉が十二名が十四名になり手当が三百円が五百
に成る関係に成ります。又児童福祉の中は四百六十七万四千四百八十九
係員園の委託料の件で増額になうています。これは昨年度は幼
十三名乳児が十名となうてしまつたが乳児十五名、幼児八十五名と成る関係
です。それから社会福祉の件は六百六十八万二千四百八十九円増額になう
補助も関係で今迄青年団、婦人会等、補助金で三万四千四百八十九円増
離乳対策関係が一万円の増になうています。定額給付金で四万九千四百
国民年金事務費の事で老令福祉年金及び福祉年金等の事務の関
係で本年七月になうてキヨシセイの年金関係の所管調査が行われる訳で
二れに關しては追加予算で計化する訳です。社会擁護施設費に於ては
以てはの通りです。次に保険衛生費に關しては百三十九万四千四百八十九

今、長生課長より厚生に關する予算の説明で、右が次に徴収誤
 収入款について、税務課長より説明を御願ひ致します。

一、高水稅務課長

町税に
つては
今年の
町税に
比べて
七百三
十八万
四千百
円の増
です。

所民税に於ては二十九万三千六百円の増であり、昨年より当初に比すると

すう
ちの増に
なつて
いますか
昭和三十三年十二月に
国共内戦

大蔵省に於て國稅の七百億減稅を行ふと云ふ事では、34年からと、内所得稅の

減税が新わねていますか。前年度に於て所得税が四十二億の減税と住民税の減税

レ
5
34
9月、三十五年度の所得税が大脚に幅に減税される筈ですが、

右より当初の場合自然増及び社会増又給料所得の信増等の関係から

だゝそう大きな問題ではないと考えますので、昨年初う予算に於てこの

所得税のいわゆる所民税の家庭にいう率は五千八百円に思いますが本年は一割の減税を計て四千四百三十八円の税率である所民税の国税所得割が八百八十七万五千円に昨年度に比べて十八万六千円の減になっています又法人に於てはこれからの経済の勢とおしき良いように思われますので昨年度に比べて所得割九十九万八千円の所得割を計ています所民税に於ては以上です又固定資産税に於て昨年度当初に於て三百九十三万八千円の増になっていますこれは新築家屋による増で三十四年中に新しく増えた家屋が六十三戸ありますこれに於て面積が九千四百四坪の評価額が一億七千七百五十三万にでそう言うものゝ固定資産税の評価額が四百三十九万用程です又軽自動車に於ては十八万八千円に昨年度より減ると思えます所民税に消費税これは昨年度より減るが十三万二千円の増で現在所のたばこの消費税が昨年度と本年度とではそんなに差がない用するに克れやきが昨年度と変っていないと

東京都西多摩郡福生町役場

建設費

次に電気が入税ですが三百三十八万に程度で当初に比べて増えつつあるが家庭の電化が進んでいる関係で電気が入税はたば消費税に比べて増加のケイコウをなしている関係です法定外普通通税の大幅でこれは大で一頭当り三百円の計算です目的税より都市計画税ですが固定資産税の評価に比べて二割位でようするに家賃の屋の新築などに比べて減ります

一 減税 以上説明を甲に付す一 なが本予算に対し御審議を仰願います

一 戸の同休制度

一 渡井 三十三年度の当初予算をみると所長の説明通り大幅に増え

一 二というようにみうけられるが二の中に基に於ては公布金に三十四

年度の当初予算六万六千円に一が組んだをなかつたのか本年度は

六十五万に組んであると言う事は昨年度の増額の公布金を受けたという

も本年は八十五万位の当初予算を計て一というのにはないかという

吳が感えられ、三十四年度の当初予算に——をいれ、三十三年度の
 予算書に組入ようといふが、本年度の予算をみると約十%位と
 思われる。なお、本年度にかゝつて町管住宅を初年度に計じ、七
 八人、十人
 を予算に——といふ款ですが、これは平等出資を大幅に増額し
 ようにみうけられるが、これは町管住宅の金が大変であつて、平
 等出資金——これは昨年と変りないといふ見方を——といふ款
 だといふ三十三年度の予算書から三十四年度の予算書に對するの
 見方は、千三百九十萬に組んであるが、どう無理な予算の組
 り方であると思われ、——かし本年度の予算書をみると、能
 成なる金が
 予算書のうていようで、約七面方は佐り増額をみているが、す
 でに、
 二、三、四に——といふので、いかに考へられる。と云ふ事は、
 かなうや、
 更正予算又は追加更正予算で考へられる款ですが、この財源に
 對して、
 所長は、いかなる考へをもち、いふか、もう一つは、議會で、
 会室の改築をして、理事者の説明
 と、いふが、いふが、いふが、いふが、いふが、いふが、いふが、
 といふ、その時の説明によると、三十四年度の予算

東京都西多摩郡福生町役場

に於ては組めないと云うやうなザンデーで追加予算で組みたいと云う
説明のもとに我々としてこの議案は締約と云う文字を入れ又
総員会に於て審議してもうと云う事でありやうと云うを欲しますが
とり後きふとすしと締結費と云う名目のもとにこの内題をかきつけ
るようにかぶつていふが我々議會がこれと云う事と合致して来てゐると
いふ事の實内も一といふ

一町迄 本年度の予算関係に於て当初予算にかなり色々な財源を計つてい
 るので今後国が補正予算をする場合に財源がどうなるかは左にかゝる
 ふうな心配から正されたものと思われす。最初申した通り何時かは
 追加更正予算で計じることだ。町管庄電の関係を当初予算に組んた理由と
 しては昨年度に於て本年度の勢地として一部買入であるので左ぶちに
 新築いなくない。その他河川改修費の設けに於て都の補助金の決定を
 みたりでこれを入れる。そう言う仕事は補助金もあるが一般財源もあるのが
 両方含めて約千五百万に位になりすがそうが大層にくれてくる

款です。又三十四年度の追加更正予算と云うものを提出する款で
すが現在迄の三十四年度の予算総額が一億三千五百五十万に程なう
いるが今度の追加を入れると一億四千六百六十万と云う金額になる款です。
そのようなる事から三十四年度の同じ総予算になるとする三千万は
増えなければならぬと云う事で色々の事業の計画を持てゐる款です。
所税の關係に於て三十四年度に於て現在迄の所税の予算総額は七千三百
二十万と云う金額になります。今度の追加を入れると七千三百四十三万に
なる款ですがまだ今年六、七百万はあつたのでこれと初めからすべてを見
込めと云う款にはいかなうが總計相当額からその事業に充てての
補正は出来るものと考へてゐる款です。少くとも三十四年度の総予算
より三十五年度の年度末迄にはそれ以上の金額になるのでは
ないかと云う一たの考へ方をしている。又信用金庫の建物と
買収するのにおよ三十四年度から出費してゐるので購入が出来ないが
三十五年度で購入する考へであると申し付けたい款です。

三十五年度で最初から目算を付けなければならぬと考へたので
こゝで処理したいと思つた款です。こゝで三十四年度に於て
特別公布の所税の決定がありこれについては三十四年度に於て
は六十八万に程度交付されてゐます。又三十四年度に於ては百七十
五万円に程決定した款で云う關係から三十四年度で支出
する事が出来ると云う事になり三十四年度で百五十万は三十五年度
に於て二百八十万は合計三百八十万円になりこゝで云ういふ事で
御了承願ひたい。

一三番 当初の所税の中に本年度の予算書はそう大幅でないで
二れかうの追加更正に於てもさうつかへないではないかと云うふうな
結果をうかがつたのであります。三十三年度に於て三十四年度の
予算を組む事に於て一千三百九十万円に増になつてゐてその時
に於ては無理もないやうな当初予算を組んでないが本年度
はわずか五百万円位の金が増額なるものか、わづら当初予算を

組んであるという事實を説明願いたい。

一町長 本年度は二案に右の事業に於て見通しのつくかあり
出来りだけ当初予算に組みたいと言う事では内容に於ては説明して
ある町管住宅、河川改修費と言う大きなものが当初に入っている
ので前年度の予算に比べると大幅に当初から膨脹して来た
款です。

十一番 本年度の予算案をみると国と町との補助金と言うものも
横切をもちこいて予算化して左の矢にのりて理するが
町長もジシシをもつて予算化してと思ひます町事業となる
矢射等が決定してかうそれを追加更正で組んでいくという事も
事業が遅れがちになると言う事も考へて当初予算に組んだ
事は以て常にも困る事である。特にその中で町管住宅の建設事業
費ですがこれは町財政としては現在校立つと言う意味で
三十五年度で予算化すると言う事になると二十戸では物足りない

四十戸位は当初予算に組みたいが左のようによろしく考へ
ますので町管住宅が当初予算で金額計じされたいと言う事は
もう二十戸位出来るのではないかと思はれるがその矢はむづか
しいと思われすが出来るものであるかなにかと云う矢せうか
がたい。又先般三番議員が申されたい信用金庫の二百
八十戸位の予算の矢にのりては三十五年度の予算には組みたいと
云う矢が言われすが左の三十五年度の予算の中にも二百八十
戸は計じられています。二つとも事になると各課、民生課又産
業課と云ふ各課に左の矢にのりて日をもするのではないかと言う
所が私達が心配されるのであるがその矢等、あやうくも大変
と思われすが自主的な面は当初予算を組まれたと云ふと比喩
に困るという訳です。果二矢を質問します。

一町長 町管住宅の関係であるがこれは国の町の住宅建設の計画が
ある三十五年度で初もうして三十五年度三十四年度、本年